

## 式 辞

ただ今、入学を許可した183名の新入生の皆さん入学おめでとう。職員を代表して皆さんの入学を心から歓迎します。

皆さんが入学した北海道岩見沢東高等学校は、大正11年の開校以来、地域の中心校として、2年後には創立100周年を迎える歴史と伝統ある高校です。

さて、かつてアメリカの大学教授が、「今年、小学校に入学した子供の65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」という予想を述べました。まさにその年に日本で小学校に入学したのが皆さんでした。この言葉はこれからの時代に応じた日本の教育の方向性を示す際、さかんに引用されてきました。すなわち、将来の社会を生きる皆さんには、あらかじめ答えの決まった問題を解くことにとどまらず、変化や課題に対してよりよい答えを導き、さらには新たな価値を生み出す力が必要であるということです。

今まさに世界、日本、地方自治体など、様々なレベルで取り組んでいる新型コロナウイルス感染拡大への対応もまた、正解のない新たな課題の一つです。こうした課題への対応を例に考えても、本校で、皆さんには、予測できない変化や困難をも乗り越え、自分はもちろん社会の未来を切り拓くための高い知性と、価値観の異なる多様な人と共に協力し合える高い人間性を身に付けることを期待しています。

そのために、皆さんには岩東生としての在り方を早く身に付けてほしいと思っています。中学校に比べると本校では、勉強、生徒会行事、部活動など、どれをとっても格段にレベルが上がります。そして、これらのことに自らの意志で一生懸命に取り組み、両立させていくというのが本校の伝統です。この良き伝統を理解し、実践できたとき、皆さんは真の「岩東生」になることができます。

新入生の皆さんは、ぜひ同級生として互いに入学の喜びと不安を分かち合い、新たな学校生活をスタートさせてください。もちろん、何か困ったことがあれば遠慮なく先生方に相談してほしいと思います。

本日入学した皆さんの高校生活が充実したものとなり、岩東が「魂の故郷」となることを願い式辞といたします。

令和2年4月8日

北海道岩見沢東高等学校長 坪川 泰嗣